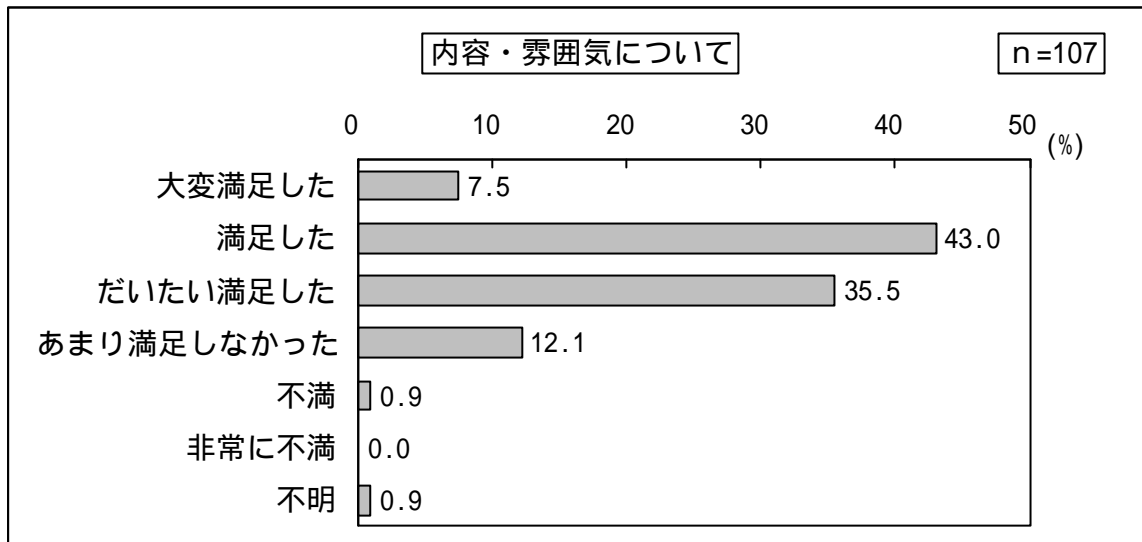
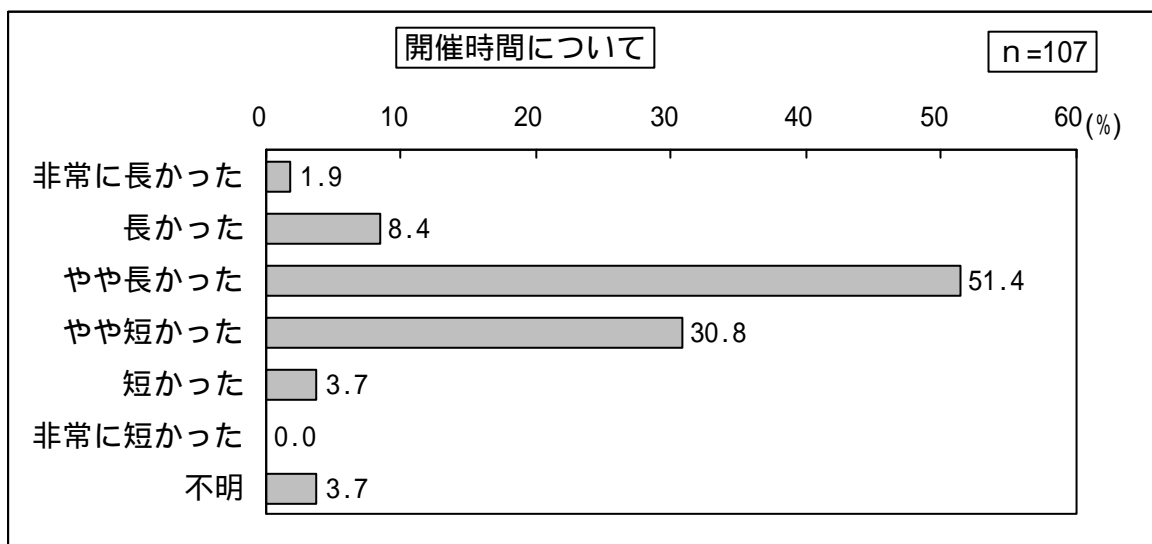


「市民参加懇談会 in 東京(第2回)」アンケート結果

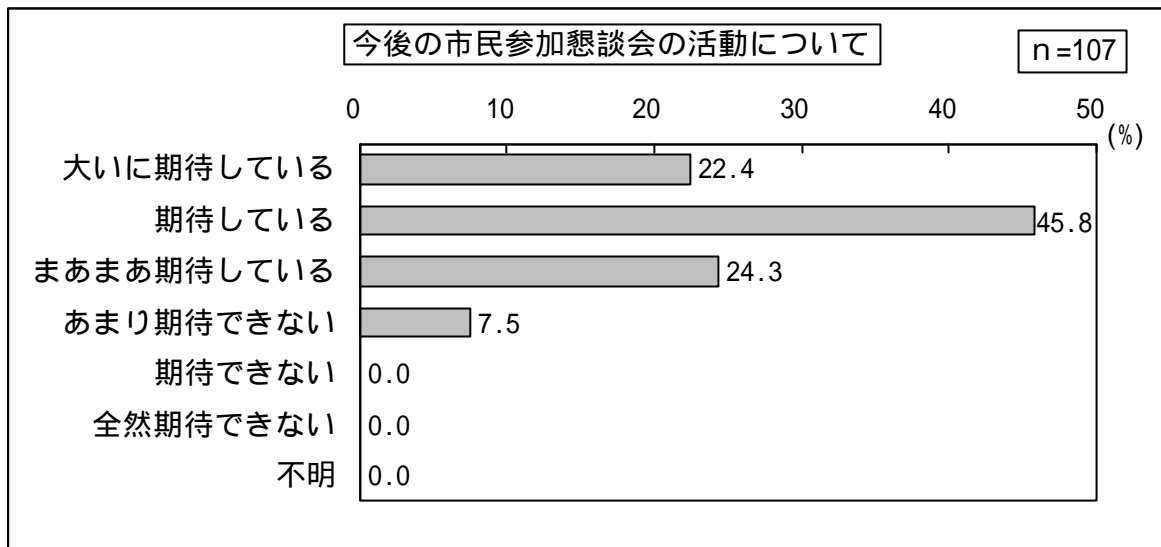
1. 本日の「市民参加懇談会 in 東京」の内容、雰囲気について、あなたのお考えに最も近いものの番号に 印をお付けください。



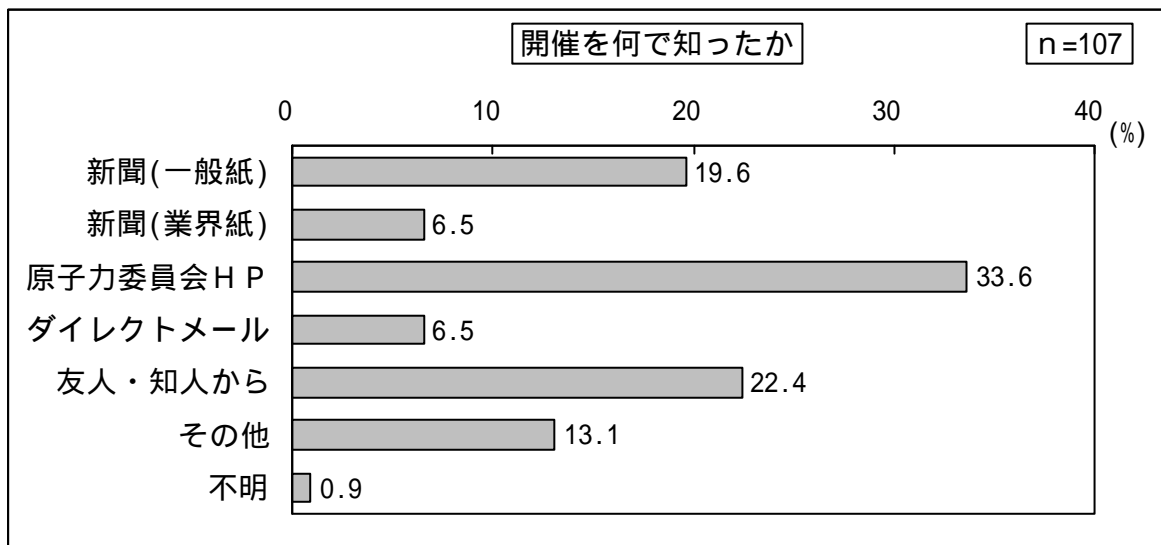
2. 本日の「市民参加懇談会 in 東京」の開催時間（4時間）について、あなたのお考えに最も近いものの番号に 印をおつけ下さい。



3. 今後の市民参加懇談会の活動について、あなたはどのように思われますか。あなたのお考えに最も近いものの番号に 印をお付けください。



4. 本日の「市民参加懇談会 in 東京」の開催を何でお知りになりましたか。



5. 本日の「市民参加懇談会 in 東京」で、あなたにとって興味深かった意見や事項、その他お気づきの点などがあればお書きください。

東電問題に関する本音の話が聴け、質問と回答も当を得たものが多く非常によかった。同
じような懇談会を、次は新潟県・福島県あるいは福井県で開催したらよいのではないか。(県
庁所在地がよい) 40～50代・男性

原子力への信頼回復のため何をすべきか考えたい。 40～50代・男性

もっと話が聞きたかった。この場に嘘はなく気持ちの良いものでした。 40～50代

本来のテーマであった「知りたい情報は…」から少し離れてしまったことが残念だった。

20～30代・女性

内部告発は人としての良心の問題であり告発する前に企業内部でどう止めるのか努力の後である。 60代以上・男性

- ・田岡氏の発言は例えが飛躍しすぎていると感じた。
- ・マスコミの方は変な正義感をかざして、当事者を叩くだけで無責任だと思った。
- ・清水さんのご発言は生活者としてごもっともで、冷静に受け止められました。
- ・住田先生や東電技術者の話は、専門家間での話のように聞こえ一般市民が聞くには少々乱暴で難しい。
- ・保安院は言い訳、釈明の為に座っていて、国民の意見を聞く姿勢には見えなかった。
- ・それぞれが(国民が)、それぞれの立場でエネルギー・原子力を考える土壌がもっと欲しいですね。(一部の人の議論だけでなく)

20～30代・女性

原子力問題をテーマとして「市民参加」という政策決定の方式の可能性について考えようとしているものです。その目でみていました。最後の木元さんのお話に又強い印象を受けました。引き続き本懇談会のご活動を注視していきたいと思います。市民を交えて会場での会話の仕方が難しいだろうなと思います。自分も含めて、ルールを逸脱しない努力と上手く話せない人の意見をじっと聞く寛容さが必要なのだろうかなと思いました。それがこれからのkeyコミュニケーションかなと思います。 20～30代・大学生

「うそをついた、うそを重ねた者からは、何を言われても信用・安心出来ない」との意見。信用・信頼回復の手順が世の中にあると、皆そのプロセス上を進んでいく筈とまず安心があるのではないのでしょうか。

情報量の多さを競って一般の人に働きかける事も大事だが、タイミングと要点についての工夫がいるでしょう。 40～50代

2部構成はよかった。特に第2部の時間が十分とれたのは画期的。 60代以上・男性

TEPCOの今回の事件に端を発し、TEPCOに裏切られた思いが強いが市民の声をTEPCO・保安院と共に話し合える有意義な時間でした。安全とコストの問題をもう少し議論して欲しかった。 40～50代

東電の説明に、なっとくできるものがあつた。(わかりやすかつた)

電気のありがたさを再度考えることにしようと思った。 20～30代・女性

「消費地」のエネルギーに対する「意見」のなさは、純粋に意識の低さを示している。

もっと関心を消費者が高めていくべきだ。 20～30代

現場で働く人の意見はどうなのでしょう。 20～30代・女性

前回の市民懇よりとても良かった。本音トークを聞く事ができた。答える立場のコアメンバー・東電・保安院の対応がしっかりしていた。今後も期待している。 20～30代

健康診断ばかりしていて、それで終わりじゃないでしょう。一生ケガも病気もしない人はいません。その時のことに対する考え、対策が聞けないのが残念でした。 40～50代

どこまで情報が届いたか。司会の方はハンドルをしっかり持っていたが、ある人は難しいもので、そのものの議論になる。仕方がない。 60代以上・男性

消費地は生産地の状況をもっと知ってほしい。十分納得出来ていれば、事故で死ぬのもやむを得ない。 60代以上

悪者をいじめるのではなく、育てる雰囲気が生じることに期待しています。(いじめるのは易

しく、育てるのは難しい) 60代以上・男性

内容はきちんと市民に伝えたい方がいいんじゃないですか。内輪うけで終わらないで欲しい。 20~30代・女性

維持基準は軽々しく作らないで欲しい。安易な見切りが重大事故のひきがねになってはならない。 20~30代・女性

社会正義をあらゆる面で発揮すれば良い。 40~50代・男性

消費者としての電力の受け手の義務も考える時に来たと強く感じています。 60代以上・女性

もっと様々なテーマで数多く開催すべき。 40~50代・男性

電力を湯水のように使わない論。これも電力で得ているが…。 60代以上

もっと過激な雰囲気かと思ったが、予想に反して冷静な議論が展開されてよかったと思う。

40~50代・男性

もっと反対意見の方に参加してもらってはどうか。 40~50代

もっとテーマをしばって議論をするべき。 20~30代・男性

久しぶりに本音の話が聞けてよかったと思っている。(具体的な) 60代以上・男性

一般主婦としては専門用語がわかりずらかったです。しかし、出席しないよりは、出席して少しは以前より解ってきたかなと思います。 60代以上・女性

東電の人の説明がわかりやすかった。 40~50代・女性

若干、専門用語が多かったと思う。自主点検・P・A・電気事業法等。行政の態度について、自分達に問題ないというような感じがして、腹立たしく感じた。 20~30代・女性

今回参加されている片山正一郎氏は、ディスカッションの質問に答える段階で、責任回避と保身を計っている様にしか聞こえない言い逃れを述べられて、今日の懇談会のざっくりばらんな、という雰囲気になじまない方が参加されていると思いました。(自分の立場だけでなく、一市民の目ももてるといいですね。)今日は質疑応答の日ではなく懇談会なので、みんなと思っていること、感じていることを共有して何が必要なのかを探るのが目的だろうと思います。司会の碧海さんが途中で女性の話が聞きたいといったところはとても的を得ていてよかったと思う。「たてまえ」はいりません、わかりやすく素直に表現してくれれば…。 40~50代

田岡氏の情報公開に対する意見。 40~50代・男性

今回の不正問題のポイントは、なぜ起こったか。背景は何かであって、それがないまま情報は届いているかでは、ピンボケの感じがする。 40~50代・男性

消費地域、立地地域それぞれの方のとらえ方が大きく違っている点が興味深かった。 20~30代

だから今後はこのようにすればよいと言うような、建設的な発言も聴きたかった。福島県知事と国との温度差が大きい。もっと近づいて建設的な話し合いを望みます。 60代以上・男性

エネルギーの必要性に関する議論が少なかった。将来への対応や環境についてもっと議論すべきであったと思う。 60代以上・男性

前回の懇談会は非常に良かったです、今回はだいぶ良いものになったと思います。

原子力コミュニティがあるという話がありましたが、現場の責任者にとってはコストの

観点から、原発を止められないという追い詰められた意識もあったと思います。 40～50代

大変このたびの懇談会は良い。これから機会を増やして欲しいと思います。 40～50代

東電不正問題のような（人間性の弱みが入るような）事柄に対する安全対策。 40～50代・男性

- ・ 柏崎や福島の人達の気持ちは切実で、これになんとかして答えるよう政府・東電は精一杯努力して欲しい。

- ・ 2人目の質問（マスコミの責任）に対して、「無視」という言葉を発した田岡氏の態度は許せない。

- ・ 東電のほとんどの社員の人はまじめに働いていると思う。信頼を回復することができるように頑張ってもらいたい。

- ・ 保安院片山氏の答弁は、質問の意図に答えていない。 20～30代

「シュラウドの問題が詐欺罪でPCVL/Tが殺人罪…」といっているが、東電の処分される人が自殺しなければいいんだけど。 40～50代

一般の方々がエネルギー問題に真剣に取組み、理解しようとしている姿が印象的であった。

60代以上・男性

もう少し一般の人の感情的意見だけでなく、一般の方に木元さんのおっしゃったように「で、どんな情報が欲しかったの？ひび割れの事を正直にきいたらもっと不安になるでしょ？」のつつこみを司会の方にしてほしいかったです。教育が悪い！の話だけをされる方が多かったの、そこはハンドリングしてほしいかったです。 20～30代・男性

維持基準が早く作られるべき。そして毎年悪い所を訂正（修正）すべき。対応が遅過ぎる。国・大学はいつも対応が遅い、遅過ぎる。名前を言わねばならないと言われると、意見は言えない。これを熟考下さい。 40～50代・男性

原子力に関する件で情報をどう吸い上げるか。特に原子力の件は大きな問題になる事もあるので、本当にどこまで情報公開ができるかが問題である。まだまだ不安がある。 40～50代・男性

「独占企業」「大企業」の「おごり」が如実に表れたのが「東電事件」。食肉事件も正にそれ。「情報公開」大切。 60代以上・男性

パネラーの発言・マスコミの人の意見。 40～50代・男性

意見を言えば良かったと思いました。（少々言いつらい雰囲気ではあったのですが）そんな気持ちの方はたくさんいらしたと思います。こんな機会をもっとフランクにたくさんやっていただければ、自然にそうなると思います。 20～30代・女性

もっと一般の方の意見を述べる時間（第2部）をとった方がいいと思います。 20～30代・男性

複数の場所でこのような懇談会を開催してほしい。消費者が気軽に大切なことを発言できる場を増やして欲しい。積極的なPR。 20～30代・女性

電力の出来るまで...を小学校くらいから教えるということは大切だと思いますが、同時に原子力についての正しい知識も教えるようにしたらよいと思います。原子力に対する過剰な怖れを持たないように。原子力発電は必要だと思います。 40～50代

足りないことはあっても、このような試みが多過ぎるということで、批判されることはないと思います。論点やそれに対する議論も真摯なものであり大変満足しました。 20～30代

よく発言をとりあげて進行でき良かった。 60代以上・男性

第2部でコアメンバー・パネリストの話が長すぎる。市民の話をもっと聞くべき。保安院の説明が良く解らなかった。 20～30代・男性

早口で解りづらいところがあった。 20～30代・男性

タイトルの内容が少ないのでは？ 20～30代・男性

吉岡先生の発展的な御意見に感動しました。 40～50代・女性

論点を絞った方がよかった。結果は広がり過ぎて消化不良感であった。 20～30代・男性

消費地域における人間の理解を更に深める必要がある。 40～50代・男性

次回もあれば参加したい。資料を電子データで欲しい。 20～30代・男性

東京電力の企業体制批判だけでなく、人間の心の本質な原因にもふれてほしかった。 40～50代

C/V不正事件の根本原因。パネラーの人数がやや多い。 40～50代・男性

第2部の司会は良くない。意見をもう少し上手くまとめていただきたい。(大変だとは思いますが) 20～30代・女性

- ・パネラーの選定に一考を望みます。今回のパネラーの1人はやや過激な意見を大きな声で、比較的長時間述べられる事が多かったように思う。反面教師の意見としては参考となりますが、懇談会の話題の中心が懇談会本来の主旨目的からズレる事を恐れます。

- ・住田先生の話、柏崎に住んでいた人の話、東電の副社長の話等々直接話を聞けて大変参考になりました。 60代以上・男性

田岡氏の説明が解り易く良かった。 40～50代

新潟出身です。イベント中には出ませんでした。東電の謝罪会見のタイミングについて。一部のTV番組でふれていたが、翌日の新聞の一面が小泉の訪朝になるのを見越して会見をしたのは信じられない。日本企業の倫理観造りをリードする企業のすることではない。結局、企業の体質が変わってないのではないかと信じられる訳がない。それと新聞の謝罪広告に「以降の報告はHPで」みたいなくだりがあったが、今の日本のPC環境の普及のレベルを知っているのか？まして立地はローカルだし、情報の届き方は知れている。もっとたくさんの人が触れられるマスメディアを使って、企業の言葉で随時報告すべき。 20～30代・男性

格納容器漏えい率検査の偽装がシュラウドのキズ事件より重大な問題である事が理解出来、参考となった。木元委員をはじめ、市民参加懇談会メンバーが一生懸命に努力して情報公開又は、市民との交流を計っているように思う。 60代以上・男性

原子力保安院、東京電力が参加してまじめに対応していただいたのがすごく良かった。このような機会が多くあれば良いと思います。 20～30代

マスコミ報道の問題点(北朝鮮の件など)を指摘されたときの田岡氏の「無視」発言など、メンバーとして不適切だ。もっとマスコミ問題など田岡氏は真摯に考えて欲しい。 20～30代・男性

一般の方はかなりイメージ先行という感じをうけた。 20～30代・男性

パネリストに一般市民からの応募者（公募者）を参加させて頂きたい。正に市民参加の懇談会になる。（会場参加者とは違った運びとなる）。保安院の答弁は国会答弁スタイルで、本質をスリ替えた内容。けしからん。本懇談会の主旨とかい離が大きく残念。（市民の目線にそった対応を） 60代以上・男性

田岡パネリストへ冷静で客観的な解決策と説明を行うように、やや発言に問題あり。

国と企業の協調体制確立を希望。 40～50代・男性

本当に一般的な市民との対話が出来する方法を考えて欲しい。もっと問題点をフォーカス、整理する図を用意して欲しかった。 20～30代・男性

前回（7/24）に参加した時には、こんな関係者ばかり集まっている懇談会では仕方ないと思ったが、今回は問題も絞られており面白かった。ただし、やはり一般の人（例えば学生）に来てもらう工夫が必要と思う。 40～50代・男性

安心を回復するには、原子力関係者が何をすべきかについて、もう少し討論してほしかった。柏崎や福島の人意見にもあったようにそれが地域の大事な事だと思うので。 40～50代

テーマが懇談会に不向きだった気がします。需給が厳しい状況の中、都民の考えを聞いてみたかったです。 20～30代・男性

発電県への配慮がほとんど見られなかったのは残念。 40～50代・男性

住田さんの技術的にみた今回の話、出演者多様性で良かったと思うが、原子力そのものにもっと言及してもよかった。 20～30代・男性

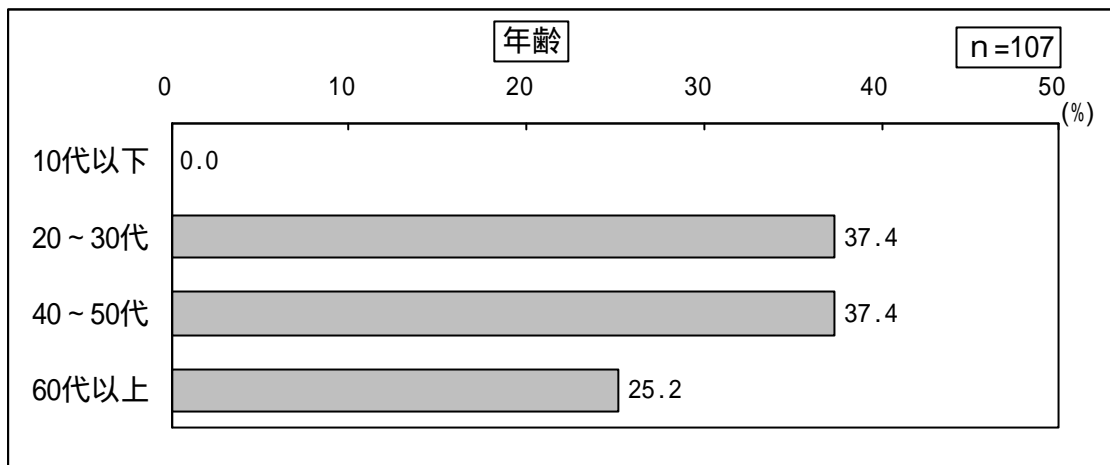
パネリストに研究専門部門に併せ現物実務部門の人を交え討論すればなお判り易いのではないか。 60代以上・男性

（社）日本技術士会が“科学技術者の倫理”を出版しています。同会は昨年定款を修正し公益を最優先することになっています。 60代以上・男性

需給の話に展開しなかったが、電力自由化で旧来の電力会社に自由競争をおしつけて、一方で維持基準を決めず、問題は全て電力会社に持たせる国の経産省の責任は大きい。やはり、原子力は国策で進めるべきではないか。 60代以上

6. 差し支えなければ、お答えください。

(1) 年齢



(2) 性別

